

第3回 市政改革懇話会資料

令和5年度行政評価における 外部評価について

令和5年10月10日
企画財政部 企画室

令和5年度行政評価における外部評価について

Ⅰ 外部評価の取組み経過

◆第1回市政改革懇話会 令和5年8月25日(金)

- ・内部評価結果の報告
- ・外部評価の実施(以下のとおり【協議順】) ※1施策につき概ね20分

【基本施策】

- ① 1-1地域防災力の向上
- ② 1-3消防・救急体制の充実
- ③ 4-2学校教育の充実
- ④ 5-7地域情報化の推進

【担当課】

- 防災対策室
- 消防本部総務課
- 学校教育課、指導室
- 企業立地情報化推進室

施策担当課による説明

施策担当課とのヒアリング

懇話会委員による意見交換

◆第2回市政改革懇話会 令和5年8月28日(月)

- ・外部評価の実施(以下のとおり【協議順】) ※1施策につき概ね20分

【基本施策】

- ⑥ 3-7国際・地域間交流の推進
- ⑦ 6-2持続可能な行財政基盤の確立
- ⑧ 2-6地域医療体制の充実
- ⑨ 3-4雇用の拡大と就業環境の充実
- ⑩ 2-3障がい者福祉の充実

【担当課】

- 庶務課
- 職員課、庶務課、企画室、財政課、税務課、
情報システム課、市民サービス課
- 市立病院庶務課
- 商工労政課
- 福祉課

施策担当課による説明

施策担当課とのヒアリング

懇話会委員による意見交換

◆パブリックコメント 令和5年8月30日(水)~9月12日(火)

- ・市ホームページ
- ・窓口閲覧(市民サービス課、北村支所、栗沢支所、有明交流プラザ、幌向、朝日、美流渡交流センター)

意見の提出なし

令和5年度行政評価における外部評価について

2 意見集約結果の整理方法

評価意見の整理ポイント(6分類)

分類	意見区分	意見数	説明	取り扱い・対応
A	内部評価結果の修正等に関する意見等	1件	R5年度内部評価結果の変更を要するもの。	今回の行政評価に反映
B	成果指標の変更等の検討に関する意見等	1件	現状や課題を踏まえ、成果を適切に把握するため、今後、指標の精査が必要なもの。	次年度において、成果指標を見直し
C	基本施策に関する意見等	2件	一つの基本施策又は複数の基本施策に跨る現状や課題等について、満足度や重要度の視点から捉え、改善の方向性を示すもの。	今後の施策・事業展開に向け検討
D	個別の事務事業に関する意見等	6件	施策を構成する事務事業を検証・見直しするうえで、必要な視点等に関するもの。	〃
E	行政評価制度の見直しに関する意見等	5件	施策評価の手法や市民に分かりやすく、伝えることのできる情報開示等の手法の変更を要するもの。	次年度において、行政評価制度を見直し
F	行財政改革に関する意見	2件	今後の持続可能な行財政運営に必要な考え方として、協議・検討を要するもの。	市政の基盤となるものであることから、今後の行政運営上の課題として、引き続き協議・検討

令和5年度行政評価における外部評価について

3 施策評価結果の修正を要する意見等

6-2 持続可能な行財政基盤の確立

意見内容	区分
ふるさと応援寄附事業について、金額的にも件数的にも下降している。財政指数に関する成果指標との整合を図るうえでも、有効性については適正に評価されたい。	A



有効性をBからCに修正する。
⇒事業評価指標「B」に変動なし

重点事業の実績		評価			評価		
事務事業名	事業の実績	達成度	有効性	効率性	達成度	有効性	効率性
職員研修事業 【職員課】	一般研修受講者数 181人 ・特別研修受講者数 696人 ・派遣研修受講者数 50人 新型コロナウイルス感染症の影響も最小限となり、例年実施している集合研修・派遣研修が実施できた。職員力の向上に向けて、コロナにより中止していた年代を中心に階層別研修を行ったほか、高度で専門的な知識の習得に向け、北海道市町村職員研修センター、市町村アカデミー、国際文化アカデミーで行われる研修への派遣を中心に行った。	A	A	A	A	A	A
市庁舎建設事業 【庶務課】	新庁舎改築工事(令和元年10月29日着手、令和3年11月30日完了) 移転総合支援業務(令和2年4月1日着手、令和4年1月31日完了) 旧庁舎解体工事(令和3年12月23日着手、令和4年8月31日完了) 新庁舎公用車庫・倉庫新築工事(令和4年3月30日着手、令和5年6月15日完了)	A	B	B	A	B	B
スマート・デジタル自治体推進事業 【情報システム課】	タブレットを活用した各支所と本庁とを繋ぐ遠隔相談窓口 電子申請システムの構築 オンライン申請管理システムの構築 庁内でのコミュニケーションツールの導入 窓口キャッシュレス機能の導入	B	A	B	B	A	B
広域交流促進事業 (うち広域連携加速化事業) 【企画室】	道による広域連携加速化事業推進要綱に基づき、各市町が各種の行政サービスを持続的に提供できるよう、防災、地域公共交通、ICT基盤の分野で、各都会単位で取組を推進。 防災～合同研修会の実施、「防災テント」の購入及び設置訓練の実施 地域公共交通～公共交通セミナー、フォトコンテストの実施 ICT～高齢者を対象としたスマートフォン講習会の開催	B	A	B	B	A	B
公共施設マネジメント推進事業 【企画室】	公共施設の適正配置を図るため、「岩見沢市公共施設等総合管理計画」(平成28年12月策定、計画期間:平成28年度～令和7年度)について、R5年度改定に向け、取組の進捗管理等を行ったほか、施設ごとに更新・統廃合・長寿命化など今後の方向性を明らかにする「公共施設再編基本計画」(平成31年3月策定、計画期間:平成30年度～令和7年度)に基づき、再編に向けた取組を推進した。	B	B	B	B	B	B
ふるさと応援寄附事業 【企画室】	令和4年度ふるさと応援寄附の実績()内はR3実績 ・寄附件数 15,336件(16,567件) ・寄附額 314,550,000円(379,521,851円) ・目的別 ①観光振興に関する事業 15,180,000円 15,205,000円 ②地域福祉に関する事業 39,036,000円 43,725,000円 ③青少年健全育成に関する事業 77,776,000円 78,201,000円 ④スポーツ・文化の振興に関する事業 12,050,000円 12,671,000円 ⑤産業振興に関する事業 77,992,001円 86,934,001円 ⑥ふるさとづくりの推進に関する事業 92,416,000円 142,785,350円 ⑦その他 100,000円 500円	C	B	B	C	C	B
窓口スマート化推進事業 【市民サービス課】	○「書かない窓口」の対象業務(住民異動業務)を拡充 ○「書かない窓口」の拡充(統合データベースのデータ連携拡充) ○キャッシュレス決済の運用開始(市民サービス課市民係) ○転出・転入手続のフロッピー化開始(マイナンバーカード所有者)	B	A	B	B	A	B
●重点事業の評価を4区分で評価(平均点)A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 【達成度】 【有効性】 【効率性】		事業評価			3.2 B		
A 十分である 非常に有効 改善の余地なし B 概ね十分である 有効 概ね効率が良い C やや不十分である やや有効でない 改善の余地あり D 不十分である 有効でない 大きく改善の余地あり		3.3 B					

令和5年度行政評価における内部評価結果について

4 外部評価結果について

● :R5外部評価対象施策 ■ :評価アップ(対前年度) □ :評価ダウン(対前年度)

基本目標／基本施策	R4 最終評価	R5 外部評価結果	R3市民意識調査結果 (順位)		
			満足度	重要度	改善度
1地域で支え合う安全・安心なまち					
● 1 地域防災力の向上	概ね順調	概ね順調	18位	17位	18位
2 総合的な雪対策の推進	概ね順調	概ね順調	4位	28位	30位
● 3 消防・救急体制の充実	順調	順調	1位	31位	32位
4 安全・安心な生活環境の確保	概ね順調	概ね順調	5位	14位	27位
5 地域コミュニティの活性化	概ね順調	概ね順調	12位	22位	23位
6 男女共同参画社会の実現	概ね順調	概ね順調	22位	24位	16位
2みんなが健康で元気に暮らせるまち					
1 健康づくりの推進	概ね順調	概ね順調	2位	29位	31位
2 高齢者福祉の充実	順調	順調	7位	21位	25位
● 3 障がい者福祉の充実	順調	概ね順調	14位	22位	21位
4 地域福祉の推進	概ね順調	現状維持	20位	10位	12位
5 社会保障制度の適正な運営	概ね順調	概ね順調	15位	6位	11位
● 6 地域医療体制の充実	順調	順調	9位	8位	19位
3活力と賑わいに満ちた魅力あふれるまち					
1 農林業の振興	概ね順調	概ね順調	21位	30位	24位
2 商工業の振興と中心市街地の活性化	概ね順調	概ね順調	28位	20位	10位
3 新産業の創出と企業立地の推進	概ね順調	概ね順調	32位	19位	7位
● 4 雇用の拡大と就業環境の充実	概ね順調	現状維持	31位	15位	5位
5 地域資源を活かした観光の振興	概ね順調	概ね順調	27位	25位	15位
6 移住・定住の促進	概ね順調	概ね順調	30位	16位	8位
● 7 国際・地域間交流の推進	概ね順調	概ね順調	29位	32位	22位
4豊かな心と生きる力をはぐくむまち					
● 1 子ども・子育て支援の充実	現状維持	概ね順調	13位	17位	20位
2 学校教育の充実	現状維持	現状維持	10位	9位	17位
3 生涯学習の振興と社会教育の充実	現状維持	現状維持	17位	10位	13位
4 芸術文化・スポーツの振興	やや遅れ	現状維持	8位	25位	26位
5自然と調和した快適で暮らしやすいまち					
1 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成	概ね順調	概ね順調	25位	2位	2位
2 快適な道路環境の確保	概ね順調	概ね順調	10位	6位	14位
3 公共交通の利便性の向上	現状維持	現状維持	23位	12位	9位
4 上下水道の適正な運営	概ね順調	概ね順調	6位	27位	29位
5 緑豊かなまちづくりの推進	順調	順調	3位	13位	28位
6 環境の保全と循環型社会の形成	概ね順調	概ね順調	16位	5位	6位
● 7 地域情報化の推進	概ね順調	概ね順調	23位	4位	3位
6市民とともに創る持続可能で自立したまち					
1 開かれた市政の推進	概ね順調	概ね順調	19位	3位	4位
● 2 持続可能な行財政基盤の確立	概ね順調	概ね順調	25位	1位	1位

評価結果の内訳

評価結果	R4最終評価	R5外部評価	割合
順調	5	4	12.5%
概ね順調	22	22	68.8%
現状維持	4	6	18.8%
やや遅れている	1	0	0.0%
遅れている	0	0	0.0%

評価アップ(2施策)

4-1 子ども・子育て支援の充実 現状維持⇒概ね順調
4-4 芸術文化・スポーツの振興 やや遅れ⇒現状維持

主な要因

・コロナ禍からの回復に伴う、施設利用者・イベント来場者の増

評価ダウン(3施策)

2-3 障がい者福祉の充実 順調 ⇒概ね順調
2-4 地域福祉の推進 概ね順調⇒現状維持
3-4 雇用の拡大と就業環境の充実 概ね順調⇒現状維持

主な要因

・人口減少・高齢化に伴う地域活動の担い手不足
・物価等の高騰
・経済活動の活発化に伴う働き手不足

令和5年度行政評価における外部評価について

5 施策推進、評価制度等に関する意見等

施策全般に関する意見

意見内容	分類
現状値、昨年値と比較している成果指標について、コロナによる行動制限等が解除された令和4年度以降は、段階的に数値が良くなっていくが、様々な分野においてコロナ前の水準に戻らないとする見解を聞くことがあるため、今後はコロナ前の水準と比較することが妥当なのかという視点も持って、分析していくことが必要である。	E

1-1 地域防災力の向上

意見内容	分類
市内の双葉町では、水田を田んぼダムの視点で防災に役立てる取組みを行っているが、これから減災や災害になりにくい体制の構築が重要であると考えられるため、このような取組を防災教育に盛り込むことや、広く市民に周知する手法についても検討していただきたい。	D

1-3 消防・救急体制の充実

意見内容	分類
消防団員充足率の引き上げに向けて、引き続き消防団員の効果的な確保方策を検討いただきたい。また、定年年齢の引上げ等社会情勢を踏まえ、適正な定員数についても併せて検討いただきたい。	D

2-3 障がい者福祉の充実

意見内容	分類
成果指標については、就労継続事業所をA型とB型を合わせて平均工賃としているが、より実態や課題を明確化するためにもそれぞれ分けて評価したほうが適切に把握できるため、指標の設定を再考されたい。	B

2-5 地域医療体制の充実

意見内容	分類
昨年の年間出生数が300人を下回ったという現状をうけ、医師等の医療提供体制だけでなく、学校の適正配置など、あらゆる面において、将来を見据えた行政運営が必要である。	F

3-2 商工業の振興と中心市街地の活性化

意見内容	分類
高校を卒業する子どもが札幌の専門学校や就職先を求めて、岩見沢を離れるという実態を踏まえると、市内に働き先がないから地元採用率が向上しないのか、あるいは地元企業のPRが不足しているからなのか、要因等について分析されたい。	C
労働力を求める市内企業が増えている中であって、地元採用率40%は低く危惧される数値であるため、評価基準に基づくものだけではなく、全体の傾向を捉え、適切に分析し評価されたい。	E

令和5年度行政評価における外部評価について

5 施策推進、評価制度等に関する意見等

3-7 国際・地域間交流の推進

意見内容	分類
次年度以降の訪問団の選考にあたって、少しでも多くの希望者を派遣できるよう検討されたい。	D
担い手不足が進行するなか、農業はもとより様々な分野において外国人労働力はますます必要とされてくる。また、人口を減らさないよう居住対策としても有効であるため、言葉や生活習慣の違いを埋められる手立てや仕組みづくりは重要である。	D
労働力確保や外国人労働者が地域で力を発揮できる環境づくりに向けては、今後は商工、観光、農政など部門間で横の連携を図るほか、商工会議所等との協力体制のもとで、事業展開していくことも必要である。	C

4-2 学校教育の充実

意見内容	分類
成果指標による定量的な評価によって、施策の総合評価が左右されているため、実績値のみに着目する評価ではなく、学校現場の取組や効果が反映されるよう、定性的な評価を加えることを検討していただきたい。	E

5-7 地域情報化の推進

意見内容	分類
市民満足度を高めていくために、市民が情報化に触れることのできる機会を増やしていくことが重要であり、取組みを効果的に発信するため、スマートフォン講習会では、中学生や高校生が講師を担い、高齢者と学生との交流やコミュニケーションにつなげられる手法を検討されたい。	D
先進的に取り組まれてきたスマート農業については、導入されている農家の方々の声を通じ、その成果を効果的に市民に発信していく手法を検討されたい。	D
市の職員が、外部からの情報に接した際に、高い感度を持って重要性を察知し、組織として横の連携を図るなど柔軟に対応していく能力が、これからの時代において、求められてくる。新しい部署を設けるといだけではなく、組織の横のつながりを持って、迅速に対応できる体制づくりをしていくことも必要である。	F

6-2 持続可能な行財政基盤の確立

意見内容	分類
32施策中、最も改善度が高い施策であるが、財政や職員、税など事業が多岐にわたっており、どのような改善を市民が望んでいるかが把握できないため、今後のアンケートにおいては、具体的な改善項目を特定できる設問を盛り込んでいただきたい。	E
前の年と比べて上がった、下がったという視点だけでなく、方向性としては良い方向に向かっているのか、悪い方向に向かっているのかや、今、行政がどういう方向で取組みを進めているのかなど、市民目線で分かりやすい評価制度としていただきたい。	E
ふるさと応援寄附事業について、金額的にも件数的にも下降している。財政指数に関する成果指標との整合を図るうえでも、有効性については適正に評価されたい。	A